

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 9 月 3 日 (2020.9.3)

【公開番号】特開 2019-24890 (P2019-24890A)

【公開日】平成 31 年 2 月 21 日 (2019.2.21)

【年通号数】公開・登録公報 2019-007

【出願番号】特願 2017-146550 (P2017-146550)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 C

A 6 3 F 7/02 3 2 4 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 22 日 (2020.7.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下可能な遊技領域が設けられた遊技盤と、  
前記遊技領域における上部に位置する供給位置より、前記遊技領域内へと遊技球を供給可能な発射部と、  
前記遊技盤を装着可能な遊技機枠と、を備える遊技機であって、  
前記遊技機枠は、  
その前面における前記遊技領域よりも下方に設けられ、遊技球を貯留可能な遊技球貯留部と、  
遊技球を、前記遊技球貯留部を経由して前記発射部まで移送することが可能な移送経路と、を有し、  
前記発射部に遊技球がなく、かつ、前記移送経路内に遊技球が存在している移送待機状態であるときと、前記移送待機状態でないときとで異なる報知を行うことが可能な報知手段を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の遊技機であって、  
前記報知手段は、前記移送経路内に存在する遊技球の位置を指標する態様の報知を行うことが可能であることを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の遊技機であって、  
前記報知手段は、前記移送経路内における最も前記発射部に近い位置に存在する遊技球の位置を指標する態様の報知を行うことが可能であることを特徴とする遊技機。

【請求項 4】

請求項 2 に記載の遊技機であって、  
前記報知手段は、前記移送経路内における最も前記発射部から遠い位置に存在する遊技球の位置を指標する態様の報知を行うことが可能であることを特徴とする遊技機。

【請求項 5】

請求項 2 に記載の遊技機であって、  
前記報知手段は、前記移送経路を遊技球の移動方向について複数に分割した複数の分割

区間についてそれぞれ、遊技球が存在しているときと、遊技球が存在していないときとで異なる態様の報知を行うことが可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

本発明に係る遊技機は、  
遊技球が流下可能な遊技領域が設けられた遊技盤と、  
前記遊技領域における上部に位置する供給位置より、前記遊技領域内へと遊技球を供給可能な発射部と、

前記遊技盤を装着可能な遊技機枠と、を備える遊技機であって、  
前記遊技機枠は、

その前面における前記遊技領域よりも下方に設けられ、遊技球を貯留可能な遊技球貯留部と、

遊技球を、前記遊技球貯留部を経由して前記発射部まで移送することが可能な移送経路と、を有し、

前記発射部に遊技球がなく、かつ、前記移送経路内に遊技球が存在している移送待機状態であるときと、前記移送待機状態でないときとで異なる報知を行うことが可能な報知手段を備えることを特徴とする。